あなたの家の石塀・スロック塀は安全ですか?

ブロック塀 (補強 ブロック造)



石塀 (組積造)

きな被害が発生しました。 ロック塀等」という)が倒壊し、 最大震度6弱)により、

月18日に発生した大阪府北部を震源とする地

石塀やブロック塀(以下「ブ

石塀

(組積造)

ブロック塀

(補強コンクリートブロック造)

死傷者が出るなど大

等の改修・新設をする場合は、 基準を定めています。ブロック塀 等が倒壊しないための最低限の いします。 去などの安全対策の実施をお願 っては倒壊の恐れがありますの ていない場合や劣化の具合によ 基準を守るようお願いします。 壊する被害が発生しています。 発生した東北地方太平洋沖地震 町でも、 必要に応じて補強工事や撤 安全点検を実施するととも 多くのブロック塀等が倒 既存のブロック塀等に 基準に従い設置され 平成23年3月11 ブロック塀 日に

専門知識を有する方に相談する ことをおすすめします。 全対策については、 下記のとおりです ブロック塀等の安全点検や安 ブロック塀等の基準は 建築士等の

▼問合せ

)栃木県建築課建築指導班)大田原土木事務所 **2**028-623-251 **2**0287-23-6615

○ふるさと定住課定住促進係

壁の厚さ 塀の高さの1/10以上 控壁の間隔 4m以内 壁の厚さの 1.5倍以上 壁の高さ 1.2m以下 石材 基礎 控壁 根入れ (木造不可) 20㎝以上

壁の厚さ 15cm以上(高さ2m以下の場合、10cm以上) 壁内の鉄筋※1 径9mm以上、縦横間隔80cm以下 縦筋端部 基礎横筋にかぎ掛け または、 鉄筋径の40倍以上の 壁の高さ 定着 2.2m以下 基礎鉄筋 根入れ※2 基礎の丈※2 径9mm以上 30㎝以上 35cm以上 控壁の間隔※2 3.4m以内 控壁の幅※2 基礎部分において壁面から高さの1/5以上

たものです。 場合についてはこの限りではありません。 算により構造耐力上安全であることが確かめられた により補強され、 ※建築基準法施行令第61条による規定内容を図化し 国土交通省大臣が定めた構造方法 国土交通大臣が定める構造計

が確かめられた場合についてはこの限りではあめる構造計算により構造耐力上安全であること を図化したものです。 ※建築基準法施行令第62条の8による規定内 国土交通大臣が

定

りません。

※1壁内の鉄筋について

- 縦筋は、壁頂および基礎の横筋にかぎ掛けする。
- ・横筋は、縦筋にかぎ掛けする。
- ・壁頂には横筋を配置する。
- ・壁端部および隅角部には縦筋を配置する。

※2 基礎及び控壁について ・壁の高さが1.2mを超える場合、摘要となる。

タウントピックス ― 広龗 飛後 ⑩